

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52315	保育相談支援 Consultation and Support for Child Care	高沢 佳司	専門	1	選択	2年後期

科目の概要

保育場面で出会う、子どもや保護者への心の援助の技法を学ぶものである。理論だけでなく、実際場面でのロールプレイを演習的に多く取り入れ、保育場面で役立つ援助方法を体験し、子どもの気持ちの受け止め方と応答方法、保護者との相談面接の方法などカウンセリングを基礎として理解や技法を深める。また、保護者支援の基礎と実践場面を理解しシミュレーションする。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける。

学修内容	到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の意義(保護者に対する意義、保育の特性と保育士の専門性を生かした支援) ・相談支援の基本(子どもの最善の利益、成長の喜びの共有、保護者の養育力の向上に資する支援、信頼関係を基本とした関わり、自己決定、秘密保持の尊重、地域資源の活用と連携) ・相談支援の実践場面(保護者に対する指導、内容、方法、技術、計画、記録、評価、カンファレンス) ・児童福祉施設における相談支援(保育所、要保護児童、障害者施設、母子生活支援施設等) ・カウンセラーに求められる基本的な態度と技術(聴く、話す、説得する、情報提供するスキル) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 保育における相談支援の意義と原則を理解する。 ② 保育における相談支援の基本を理解する。 ③ 保育における相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する。 ④ 保育所等児童福祉施設における保護者支援の実際について理解する。 ⑤ ロジャーズの理論、3条件等から、話しやすい人物の態度を学ぶ。スキルを訓練し習得することで、聴くために必要なコミュニケーション能力の底上げをし、相談の質を上げる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	調べ学習等の自発的な学習を行うことができる
	働きかけ力	
	実行力	事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる
考え抜く力	課題発見力	事例検討等で、事例を読み取り登場人物のニーズを把握したり、解決の手だてを把握したりすることができる
	計画力	
	創造力	事例の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し支援計画を考案することができる
チームで働く力	発信力	グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる
	傾聴力	発表者の意見を自分の立場に置き換えて、発表者の意図を汲み取りながら聴くことができる
	柔軟性	グループ討議の際、相手の意見も取り入れながら多角的に物事を見ることができる
	状況把握力	
	規律性	他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。授業中に携帯電話を不必要に操作しない。居眠りをしない
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト1: 青木紀久代 編著 「実践・保育相談支援」 (株)みらい
 テキスト2: 中村健壽 監修 「社会人準備講座シリーズ2 ワークで学ぶコミュニケーション・スキル」 西文社

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 障がい児保育、教育心理学
 資格との関連: 幼稚園教諭二種免許、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
事例検討やシミュレーションを重ねることで、汎用的思考力である高次解釈(なぜ)と低次解釈(どのように)を自在に使えるようにすること。この別々の解釈水準の思考力を持つことで専門的科目の習得が容易になる。注:高次解釈、低次解釈という用語の意味は、難易度や優先順位とは無関係である。前者は物事の中心的意味(理由、目標)に関する思考であり、後者は副次的意味(手段、二次的目標)に関する思考である。	調べ学習、発表、グループワーク、相互に教え合う等の活動に代表される、アクティブラーニング形式での授業に意欲を持って参加すること。 ほぼ毎回、課題プリントが課されるため、必ず提出すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)
		②	✓	・調べ学習等の自発的な学習を行うことができる
		③	✓	(実行力)
		④	✓	・事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる (課題発見力)
		⑤	✓	・事例検討等で、事例を読み取り登場人物のニーズを把握したり、解決の手だてを把握したりすることができる (創造力) ・事例の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し支援計画を考えることができる (発信力) ・グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる (傾聴力) ・発言者の意見を自分の立場に置き換えて、意図を汲み取りながら聴くことができる (柔軟性) ・グループ討議の際、相手の意見も取り入れながら多角的に物事を見ることができる (規律性) ・他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。授業中に携帯電話を不必要に操作しない。居眠りをしない ※10点満点の素点を評価点とする。
その他	90	①	✓	・調べ学習をプリントで行い、提出することが求められるが、提出の割合で評価する。一の位は四捨五入する。 例)15回のプリント配布のうち、10回提出・・・67%のため、60点。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レポート・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において満遍なく十分な力を発揮できればA。3つの評価方法においてほぼ、あるいは完璧に力を発揮できればS。	筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは2つの評価方法において十分な力を発揮できればB。2つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価方法において十分な力を発揮できればC。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	(予習)・(復習)	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション、ロジャーズ理論を学ぶ(3条件、反射、明確化)	講義 グループ討議 相談のロールプレイング	カウンセリングの理論・技能において基礎となるカウンセラーの態度、技法を体験的に理解できる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性
2週 /	保育士の専門性を生かした支援を学ぶ スキル訓練を行う ①スキルの重要性	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	保育の現場で特性や専門性を相談支援にどう活かすかが理解できる。 スキルの重要性を話題として、話すこと・聴くことの基盤を獲得できる。	(予習)テキスト 1 P14～P15、テキスト 2 P6～8を読む。 (復習)テキスト 1 P14～P15、テキスト 2 P6～8を見直す。	90 90	主体性 実行力 規律性
3週 /	保護者に対する相談支援の意義を学ぶ スキル訓練を行う ②相手とのギャップを埋めるには	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	なぜ保育相談支援(特に保育指導)が必要か理解できる。自分がどのような支援を行いたいか、シミュレーションできる。 相手とのギャップを埋めるコミュニケーションについてシミュレーションできる。	(予習)テキスト 1 P22～P25、テキスト 2 P9～11を読む。 (復習)テキスト 1 P22～P25、テキスト 2 P9～11を見直す。	90 90	主体性 実行力 規律性
4週 /	保育相談支援の基本を学ぶ スキル訓練を行う ③非言語コミュニケーション	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	保育相談支援の基本の7項についてシミュレーションできる。 特に、相談支援の心構えとして「上意下達にならないためには」「秘密を守るためには」の各問いに答えることができる 非言語コミュニケーションの効果を理解し、シミュレーションできる。	(予習)テキスト 1 P16～P17、テキスト 2 P12～16を読む。 (復習)テキスト 1 P16～P17、テキスト 2 P12～16を見直す。	90 90	主体性 実行力 規律性
5週 /	保育相談支援の実際を学ぶ①保育に関する保護者に対する指導(1) スキル訓練を行う ④話を聴くためのスキル(1)	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	保護者との信頼関係構築、協力とは何かシミュレーションできる。 傾聴、観察、共感に関するスキルを理解し、シミュレーションできる。	(予習)テキスト 1 P46～P52、テキスト 2 P17～20を読む。 (復習)テキスト 1 P46～P52、テキスト 2 P17～20を見直す。	90 90	主体性 実行力 規律性
6週 /	保育相談支援の実際を学ぶ①保育に関する保護者に対する指導(2) スキル訓練を行う ⑤話を聴くためのスキル(2)	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	保護者の養育力を向上する方法をシミュレーションできる。 3つのスキルの(復習)と、傾聴の応用スキルを使用できる。	(予習)テキスト 1 P52～P55、テキスト 2 P21～22を読む。 (復習)テキスト 1 P52～P55、テキスト 2 P21～22を見直す。	90 90	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
7週 /	保育相談支援の実際を学ぶ②保護者支援の内容 スキル訓練を行う ⑥理解を深めるためのスキル	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	保育相談支援の構造・種類から内容が理解できる。 質問、確認に関するスキルを使用できる。	(予習)テキスト 1 P18～P22、テキスト 2 P23～26を読む。 (復習)テキスト 1 P18～P22、テキスト 2 P23～26を見直す。	90 90	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
8週 /	保育相談支援の実際を学ぶ③保護者支援の方法と技術 スキル訓練を行う ⑦頭の中を整理するためのスキル	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	心に寄り添う支援と具体的に支える支援を、カウンセリングとソーシャルワークから理解できる。 また守秘義務とチーム・組織としての支援が理解できる 熟考、関連付け、優先順位付けのスキルを使用できる。	(予習)テキスト 1 P28～P31、テキスト 2 P27～30を読む。 (復習)テキスト 1 P28～P31、テキスト 2 P27～30を見直す。	90 90	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	(予習)・(復習)	時間 (分)	能力 名
9週 /	保育相談支援の実際を学ぶ ④保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス(1) スキル訓練を行う ⑧仕事をスムーズに進めるためのスキル(1)	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントの フィードバックおよび 解説	保育相談の流れ(ニーズの把握、受理、見立て、支援計画)をシミュレーションできる。	(予習)テキスト 1 P34 ～P37、テキスト 2 P31～35を読む。 (復習)テキスト 1 P34 ～P37、テキスト 2 P31～35を見直す。	90 90	課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
10週 /	保育相談支援の実際を学ぶ ④保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス(2) スキル訓練を行う ⑨仕事をスムーズに進めるためのスキル(2)	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントの フィードバックおよび 解説	保育相談の流れ(介入、記録、評価、終結)をシミュレーションできる。 相談のスキルを使用できる。	(予習)テキスト 1 P38 ～P41、テキスト 2 P36～37を読む。 (復習)テキスト 1 P38 ～P41、テキスト 2 P36～37を見直す。	90 90	課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
11週 /	保育相談支援の実際を学ぶ ④保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス(3) スキル訓練を行う ⑩情報を共有するためのスキル	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントの フィードバックおよび 解説	カンファレンス、コンサルテーションを理解出来る。ジェノグラム、エコマップを作成できる 相談支援の流れを事例に当てはめてシミュレーションできる 説明するためのスキルを使用できる。	(予習)テキスト 1 P41 ～P45、テキスト 2 P38～41を読む。 (復習)テキスト 1 P41 ～P45、テキスト 2 P38～41を見直す。	90 90	課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
12週 /	児童福祉施設における保育相談支援を学ぶ ①保育所における保育相談支援の実際、および特別な対応を要する家庭への支援	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントの フィードバックおよび 解説	以下の事例検討を通して支援をシミュレーションできる。 1. 養育力向上のための情報提供 2. 苦情対応 3. 保護者同士の関係改善 4. 障がい受容 5. 肢体不自由児の事例	(予習)テキスト 1 P96 ～P106、P125～P129 を読む。 (復習)テキスト 1 P96 ～P106、P125～P129 を見直す。	90 90	課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
13週 /	児童福祉施設における保育相談支援を学ぶ ②児童福祉施設等要保護児童の家庭に対する支援 スキル訓練を行う ⑪提案し、納得に導くためのスキル	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントの フィードバックおよび 解説	虐待対応と家庭への支援の実際を理解できる。また事例検討から支援をシミュレーションできる。 説得とプレゼンテーションのスキルを使用できる。	(予習)テキスト1 P136 ～P141、テキスト 2 P42～45を読む。 (復習)テキスト1 P136 ～P141、テキスト 2 P42～45を見直す。	90 90	課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
14週 /	児童福祉施設における保育相談支援を学ぶ ③障がい児施設、母子生活支援施設の家庭に対する支援 スキル訓練を行う ⑫クレームに対処するためのスキル	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントの フィードバックおよび 解説	事例検討により、入所から退所までの支援がシミュレーションできる。また、社会資源について調査できる。 謝罪する、問題を解決するスキルを使用できる。	(予習)テキスト1 P151 ～P157、テキスト 2 P48～52を読む。 (復習)テキスト1 P151 ～P157、テキスト 2 P48～52を見直す。	90 90	課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
15週 /	全体の振り返りとまとめを行う	講義 質疑応答 前回の配布プリントの フィードバックおよび 解説	保育相談支援の知識、事例検討、スキル訓練等についての理解度や応用力などをプリント学習で確認できる。	(予習復習)テキスト該 当箇所を見直す。	180	主体性 実行力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力